

心を動かす、
日本を元気にする
観光・レジャーのプロデューサー
応援情報誌

とーりまかし

vol. 67

2022年3月号

目次

- じゃらん人気温泉地ランキング
2022発表！
資源と歴史を現代に融合した町づくり、
DX&官民連携でブランド力強化…
進化する2大人気温泉地
草津と箱根
- マジ部活動+調査から紐解く！
16 気になるZ世代の
「新常識」
地域の魅力を「物語」として伝える
「インタビューリレーション」の
重要性とは？
24 ひらけ！
観光ガイドの未来

- 連載
知りたかったあのキーワードを詳しく解説
とーりまのピックアップNEWS
30 月は東に、日は西に
今号のテーマ
推し活
- 価値と感動を生み出す人にインタビュー
32 「マエストロの肖像」
筑波大学体育系准教授 剣道部男子監督
鍋山隆弘
Nostalgic but Innovative
ちよつと気になるおみやげ手帖
34 桔梗信玄餅 極（山梨県）

とーりまかし [terima kashi]
インドネシア語で
「ありがとう」の意。
日頃からお世話になっているクライア
ントのみなさまにありがとう、読者のみ
なさまにありがとう、そして私たちに知
恵を提供してくれるすべてのみなさまに
ありがとう、という感謝の気持ちを込め
て、この名前をつけました。ちなみに、じや
らん「jalan」もインドネシア語で、「道」
「プロセス」の意味です。「jalan jalan」
で、「散歩する」「ブラブラ出かける」「旅
行する」などの意味になります。



じゃらん
人気温泉地ランキング
2022発表！
特集
資源と歴史を現代に
融合した町づくり、
DX&官民連携で
ブランド力強化…

草津と 箱根

進化する2大人気温泉地

16回目を迎えた「じゃらん人気温泉地ランキング」。
今回は、全国1万3961人の投票により、327の温泉地から
各ランキングが決定。「全国人気温泉地ランキング」では
調査開始以来、初めてトップが入れ替わった。しかしその差は僅か。
選ばれ続ける温泉地とはどのように作られるのか。

じゃらん人気温泉地ランキング2022 調査概要と回答者プロフィール

調査概要

調査時期	2021年8月23日（月）～2021年8月31日（火）
調査対象	『じゃらんnet』会員
調査方法	インターネット上でのアンケートを実施
回収数	1万3961人
有効回答数	1万3961人
対象温泉	全国の327温泉地（除く東京都・沖縄県）を調査対象として設定

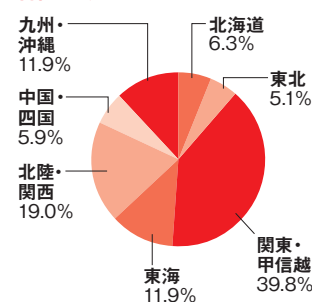
※温泉地名は調査時のものであり、一部の温泉地で呼称が異なる場合がある

回答者プロフィール（n=13,961）

性別



居住地域



属性別に見る
「もう一度行ってみたい」温泉地

温泉地名が**赤色のものは**、昨年よりランクアップした温泉地

全国未婚
ベスト10

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	箱根温泉	神奈川県	647	1
2	草津温泉	群馬県	623	2
3	道後温泉	愛媛県	360	3
4	熱海温泉	静岡県	356	5
5	有馬温泉	兵庫県	334	7
6	登別温泉	北海道	316	4
7	下呂温泉	岐阜県	314	9
8	別府温泉郷	大分県	284	10
9	黒川温泉	熊本県	282	6
10	城崎温泉	兵庫県	269	8

全国既婚
子どもありベスト10

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	1431	2
2	箱根温泉	神奈川県	1373	1
3	登別温泉	北海道	1081	3
4	道後温泉	愛媛県	989	4
5	別府温泉郷	大分県	831	5
6	有馬温泉	兵庫県	790	6
7	黒川温泉	熊本県	748	7
8	由布院温泉	大分県	724	8
9	熱海温泉	静岡県	669	11
10	下呂温泉	岐阜県	659	10

全国既婚
子どもなしベスト10

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	511	2
2	箱根温泉	神奈川県	465	1
3	登別温泉	北海道	351	3
4	道後温泉	愛媛県	319	4
5	別府温泉郷	大分県	280	5
6	有馬温泉	兵庫県	249	8
6	黒川温泉	熊本県	249	7
8	乳頭温泉郷	秋田県	233	10
8	由布院温泉	大分県	233	6
10	下呂温泉	岐阜県	218	11

年代別ベスト5

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	箱根温泉	神奈川県	252	1
2	草津温泉	群馬県	206	2
3	熱海温泉	静岡県	162	3
4	鬼怒川温泉	栃木県	112	5
4	下呂温泉	岐阜県	112	4

30代

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	箱根温泉	神奈川県	344	1
2	草津温泉	群馬県	317	2
3	道後温泉	愛媛県	200	3
4	熱海温泉	静岡県	192	7
5	黒川温泉	熊本県	177	8

40代

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	530	2
2	箱根温泉	神奈川県	521	1
3	道後温泉	愛媛県	396	4
4	登別温泉	北海道	370	3
5	黒川温泉	熊本県	315	5

50代

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	835	1
2	箱根温泉	神奈川県	788	2
3	登別温泉	北海道	634	3
4	道後温泉	愛媛県	553	4
5	別府温泉郷	大分県	463	5

60代

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	546	1
2	箱根温泉	神奈川県	479	2
3	登別温泉	北海道	427	3
4	道後温泉	愛媛県	365	4
5	別府温泉郷	大分県	337	5

居住地別ベスト3

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	登別温泉	北海道	423	1
2	洞爺湖温泉	北海道	257	2
3	湯の川温泉	北海道	231	4

東北居住者

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	秋保温泉	宮城県	155	1
2	鳴子温泉郷	宮城県	141	3
3	乳頭温泉郷	秋田県	137	2

関東・甲信越居住者

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	1638	2
2	箱根温泉	神奈川県	1562	1
3	熱海温泉	静岡県	743	3

東海居住者

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	下呂温泉	岐阜県	414	1
2	草津温泉	群馬県	310	3
3	奥飛騨温泉郷	岐阜県	303	4

北陸・関西居住者

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	城崎温泉	兵庫県	591	1
2	有馬温泉	兵庫県	558	2
3	道後温泉	愛媛県	397	3

中国・四国居住者

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	道後温泉	愛媛県	235	1
2	別府温泉郷	大分県	149	3
3	有馬温泉	兵庫県	146	2

九州・沖縄居住者

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	黒川温泉	熊本県	505	1
2	嬉野温泉	佐賀県	381	2
3	別府温泉郷	大分県	311	4

全国人気温泉地
ランキングベスト50

これまでに行ったことがある温泉地のうち
「もう一度行ってみたい」温泉地について尋ねた
(複数回答5つまで)

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	草津温泉	群馬県	2565	2 ↑
2	箱根温泉	神奈川県	2485	1 ↓
3	登別温泉	北海道	1748	3 →
4	道後温泉	愛媛県	1668	4 →
5	別府温泉郷	大分県	1395	5 →
6	有馬温泉	兵庫県	1373	7 ↑
7	黒川温泉	熊本県	1279	6 ↓
8	熱海温泉	静岡県	1228	9 ↑
9	由布院温泉	大分県	1199	8 ↓
10	下呂温泉	岐阜県	1191	10 →
11	城崎温泉	兵庫県	1109	10 ↓
12	乳頭温泉郷	秋田県	994	12 →
13	鬼怒川温泉	栃木県	902	15 ↑
14	奥飛騨温泉郷	岐阜県	895	13 ↓
15	指宿温泉	鹿児島県	883	14 ↓
16	蔵王温泉	山形県	808	19 ↑
17	和倉温泉	石川県	800	17 →
18	洞爺湖温泉	北海道	778	16 ↓
19	奥入瀬溪流温泉・十和田湖畔温泉	青森県	708	21 ↑
19	伊香保温泉	群馬県	708	24 ↑
21	加賀温泉郷	石川県	701	20 ↓
22	定山渓温泉	北海道	695	18 ↓
23	阿寒湖温泉	北海道	681	22 ↓
24	玉造温泉	島根県	651	25 ↑
25	嬉野温泉	佐賀県	647	23 ↓
26	湯の川温泉	北海道	590	25 ↓
27	万座温泉	群馬県	587	27 →
28	雲仙温泉	長崎県	583	28 →
29	霧島温泉 (霧島温泉郷、霧島神宮温泉郷、妙見・安楽温泉郷、日当山温泉郷)	鹿児島県	556	29 →
30	八甲田温泉・酸ヶ湯温泉	青森県	543	32 ↑
31	秋保温泉	宮城県	530	30 ↓
32	層雲峡温泉	北海道	491	33 ↑
33	銀山温泉	山形県	489	34 ↑
34	飛騨高山温泉	岐阜県	480	31 ↓
35	湯河原温泉	神奈川県	460	41 ↑
36	鳴子温泉郷	宮城県	445	35 ↓
37	那須温泉	栃木県	438	37 →
38	白浜温泉	和歌山県	427	36 ↓
39	四万温泉	群馬県	424	39 →
40	修善寺温泉	静岡県	416	43 ↑
41	白骨温泉	長野県	411	42 ↑
42	ニセコ温泉郷	北海道	387	38 ↓
43	淡路島の温泉 (洲本温泉・南あわじ温泉郷・岩屋温泉)	兵庫県	382	45 ↑
44	十勝川温泉	北海道	373	40 ↓
45	花巻温泉郷	岩手県	370	44 ↓
46	三朝温泉	鳥取県	351	46 →
47	宇奈月温泉	富山県	329	49 ↑
48	あわら温泉	福井県	325	48 →
49	伊東温泉・宇佐美温泉	静岡県	306	47 ↓
50	皆生温泉	鳥取県	305	52 ↑



ランキングから見る
注目の温泉地

2度目のコロナ禍での実施ながら今回も伸びた回答数。「もう一度行ってみたい温泉地」はどのような支持を受け選ばれたのかデータから分析してみよう。

80票差で首位逆転。
草津温泉が初の1位を獲得

もう一度行ってみたい温泉地を尋ねる「全国人気温泉地ランキング」。上位50位までを見てみると、35位の湯河原温泉(＋6ランク)、19位の伊

持し続けてきた箱根温泉が、初めて首位の座を明け渡すことになった。それではどのような支持によってランキングが動いたのか。

バランス型ゆえ強いとされる箱根温泉以外にも、上位温泉地は複数の強みがあることが選ばれた理由からわかる。草津温泉も豊富な湯量や温泉力で知られるが、選ばれた理由の割合は「街の雰囲気が好きだから」の方が高い。温泉の効能、自然環境、立地等そのものを考えることはできないが、温泉を楽しむ環境が整っていればアクセスの弱点など跳ね返すこともできると言えるだろう。

居住地別に見ると、関東・甲信越以外のエリアではトップは去年と変わらず。関東・甲信越では草津温泉が2年ぶりに1位に返り咲いた。

年代別では、1位は20代と30代が箱根温泉、40代、60代が草津温泉と、年代で分かれる結果に。ファミリー層では子どもあり、子どもなしともに1位が入れ替わり、草津温泉が選ばれている。このように属性別に見ても草津温泉は高い支持を得たが、12年前より始めた町づくりでターゲットとした若い女性の年代が上がりファミリー層になるなどで、支持の幅が広がったことも得票を伸ばした要因のひとつではないだろうか。

その他のランキングから 旅行者の動向をチェック

実際に足を運んだ温泉地や、満足度の高かった温泉地は？同行形態や県境を越えての移動等、多くの配慮が必要だったが、ランキングへの影響は見られたのだろうか。

全国温泉地1年間の訪問経験 ランキングベスト30

（n=13,848）
最近1年間に「行ったことがある」温泉地
（最近1年間＝2020年8月頃～2021年8月頃までを指す）

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	箱根温泉	神奈川県	1444	1 →
2	熱海温泉	静岡県	964	2 →
3	草津温泉	群馬県	856	3 →
4	鬼怒川温泉	栃木県	627	5 ↑
5	下呂温泉	岐阜県	608	6 ↑
6	那須温泉	栃木県	589	11 ↑
7	有馬温泉	兵庫県	575	4 ↓
8	伊香保温泉	群馬県	562	8 →
9	別府温泉郷	大分県	529	10 ↑
10	伊東温泉・宇佐美温泉	静岡県	514	13 ↑
11	湯河原温泉	神奈川県	511	14 ↑
12	道後温泉	愛媛県	503	7 ↓
13	登別温泉	北海道	472	12 ↓
14	定山渓温泉	北海道	459	9 ↓
15	奥飛騨温泉郷	岐阜県	446	19 ↑
16	洞爺湖温泉	北海道	405	18 ↑
17	淡路島の温泉 （洲本温泉・南あわじ温泉郷・岩屋温泉）	兵庫県	404	20 ↑
18	塩原温泉	栃木県	396	22 ↑
19	城崎温泉	兵庫県	392	17 ↓
20	嬉野温泉	佐賀県	387	16 ↓
21	加賀温泉郷	石川県	386	15 ↓
22	鳥羽温泉郷	三重県	379	25 ↑
23	秋保温泉	宮城県	373	21 ↓
24	飛騨高山温泉	岐阜県	357	23 ↓
25	白浜温泉	和歌山県	326	31 ↑
26	由布院温泉	大分県	322	24 ↓
27	黒川温泉	熊本県	319	27 →
28	伊豆長岡温泉	静岡県	314	36 ↑
29	四万温泉	群馬県	306	34 ↑
30	みなかみ18湯 （旧水上温泉郷・猿ヶ京温泉・法師温泉・宝川温泉）	群馬県	302	37 ↑

全国あこがれ温泉地 ランキングベスト30

（n=13,957）
まだ行ったことはないが「一度は行ってみたい」温泉地
（複数回答5つまで）

順位	温泉地名	都道府県	集計対象数	昨年順位
1	乳頭温泉郷	秋田県	2413	1 →
2	草津温泉	群馬県	1956	2 →
3	由布院温泉	大分県	1778	3 →
4	銀山温泉	山形県	1773	5 ↑
5	道後温泉	愛媛県	1673	4 ↓
6	登別温泉	北海道	1574	6 →
7	下呂温泉	岐阜県	1388	8 ↑
8	有馬温泉	兵庫県	1311	7 ↓
9	箱根温泉	神奈川県	1272	9 →
10	別府温泉郷	大分県	1266	12 ↑
11	指宿温泉	鹿児島県	1197	10 ↓
12	黒川温泉	熊本県	1194	13 ↑
13	熱海温泉	静岡県	1056	11 ↓
14	八甲田温泉・酸ヶ湯温泉	青森県	1006	14 →
15	鬼怒川温泉	栃木県	854	15 →
16	加賀温泉郷	石川県	718	17 ↑
17	洞爺湖温泉	北海道	713	19 ↑
18	奥入瀬溪流温泉・十和田湖畔温泉	青森県	700	16 ↓
19	蔵王温泉	山形県	663	18 ↓
20	二セコ温泉郷	北海道	652	23 ↑
21	伊香保温泉	群馬県	615	20 ↓
22	和倉温泉	石川県	603	21 ↓
23	城崎温泉	兵庫県	497	23 →
24	白骨温泉	長野県	478	22 ↓
25	阿寒湖温泉	北海道	442	27 ↑
26	黒部峡谷温泉群	富山県	441	26 →
27	雲仙温泉	長崎県	437	29 ↑
28	宇奈月温泉	富山県	413	28 →
29	四万温泉	群馬県	395	30 ↑
30	玉造温泉	島根県	380	25 ↓

全国温泉地満足度 ランキング 総合部門ベスト10

最近1年間の訪問者数が100人以上
（133温泉地）

順位	温泉地名	都道府県	満足度	集計対象数
1	霧島温泉 （霧島温泉郷、霧島神宮温泉郷、妙見・安楽温泉郷、日当山温泉郷）	鹿児島県	95.7	253
2	白骨温泉	長野県	95.5	110
3	八幡平温泉郷	岩手県	95.3	149
4	黒川温泉	熊本県	95.0	319
5	乳頭温泉郷	秋田県	94.5	182
6	蔵王温泉	山形県	93.9	296
6	奥飛騨温泉郷	岐阜県	93.9	446
8	万座温泉	群馬県	93.8	242
8	別府温泉郷	大分県	93.8	529
10	草津温泉	群馬県	92.9	856

秘湯部門ベスト10

最近1年間の訪問者数が
50人以上100人未満
（81温泉地）

順位	温泉地名	都道府県	満足度	集計対象数
1	小田・田の原・満願寺温泉	熊本県	97.2	72
2	久住温泉	大分県	95.5	88
3	十勝岳温泉	北海道	95.3	64
4	秋田八幡平温泉郷	秋田県	95.1	82
5	乗鞍高原温泉	長野県	94.4	71
6	別所温泉	長野県	94.0	50
7	わいた温泉郷	熊本県	93.8	97
8	小安峽温泉・秋の宮温泉	秋田県	93.3	60
9	九重“夢”温泉郷	大分県	92.2	51
10	赤倉温泉	新潟県	90.1	71

イン。全国人気温泉地ランキングでランクアップした草津温泉、蔵王温泉も総合部門でトップ10入りした。マイクローリズムが進む中、同じ県内でも密を避けて、メジャーな温泉地の少し先にある、隠れ家的な温泉を見つける楽しみも増えたのではない。秘湯部門1位の小田・田の原・満願寺温泉は黒川温泉から車で5分程度の距離にある温泉地。宿が7軒と最も多い小田温泉のおもな価格帯は、1泊2食付きで1名2万円前後。黒川温泉と同程度でありながら、客室は離れや露天風呂付きなど、グレードが上がる宿が多いという。その割安感も大きな満足感に繋がった理由と考えられる。

また、「じゃらん宿泊旅行調査2021」によれば宿泊旅行の同行形態では「ひとり旅」が17・8%と第2位を占めた。密を避けた少人数の旅行スタイルも注目をされてきたことから、新たな部門として今回の調査から「ひとり旅で行きたい温泉地ランキング」を新設。上位5位の顔ぶれはおなじみの温泉地だが、選ばれた理由を見ると、交通アクセス、静かな環境、温泉の広さだけではなく、宿泊プランの工夫も決め手となっている。グループサイズが小型化している中、ぜひ参考になりたい。

新設！

ひとり旅で行きたい温泉地 ランキングベスト30

これまでに行ったことがある温泉地のうち
「ひとり旅で行ってみたい」温泉地
（複数回答5つまで）

上位5つの温泉地が 選ばれた理由とは

1位 箱根温泉 （n=1,292）	理由1位	理由2位	理由3位
	静かな環境でゆっくり過ごせるから （59.9%）	公共交通機関や送迎付きで行けるから （41.4%）	1人でもお得に利用できるから （27.8%）

2位 草津温泉 （n=814）	理由1位	理由2位	理由3位
	静かな環境でゆっくり過ごせるから （57.5%）	温泉が広々としているから （44.3%）	1人でもお得に利用できるから （23.0%）

3位 道後温泉 （n=782）	理由1位	理由2位	理由3位
	静かな環境でゆっくり過ごせるから （50.5%）	温泉が広々としているから （33.5%）	公共交通機関や送迎付きで行けるから （26.2%）

4位 熱海温泉 （n=644）	理由1位	理由2位	理由3位
	公共交通機関や送迎付きで行けるから （45.7%）	静かな環境でゆっくり過ごせるから （42.1%）	1人でもお得に利用できるから （39.0%）

5位 有馬温泉 （n=607）	理由1位	理由2位	理由3位
	静かな環境でゆっくり過ごせるから （51.6%）	公共交通機関や送迎付きで行けるから （38.9%）	温泉が広々としているから （27.0%）

なぜまた行きたいと人は思うのか 選ばれる温泉地の秘密を紐解く

それぞれの特性を活かし、その人気に甘んじることなく進化し続ける草津と箱根。
立地も規模もまったく異なる2つの温泉地、それぞれの手法を探る。

湯畑を中心に温泉街を修景

100年先にも通用する終わりなき町づくり

全国人気温泉地ランキング1位

草津温泉（群馬県）

温泉力の草津で、どのように町づくりが始まったか

日本一の自然湧出量を誇り、〃恋の病以外は治す〃と言われるほどの殺菌作用を持つ強酸性泉。言わずと



上／湯畑のライティングは、東京駅丸の内駅舎のライトアップなどを手がけた面出薫氏がデザイン
右／棚田をイメージして作られた湯路広場



左／御座之湯は源頼朝が入浴したと伝えられる施設を再建。湯畑源泉と万代源泉の2種類に浸ることができる



右／熱乃湯では湯もみGirlsによる湯もみショーを連日開催。草津の伝統を見せながらも、軽妙なトークと想定外の迫力が楽しめる

訪れた多くの人々の心を掴んだことがわかる。しかし湯畑を中心とした温泉街は以前から存在した。なぜわざわざ町づくりをする必要があったのだろうか。
2010年まで老舗や大型の宿泊施設の倒産が相次ぎ、町は閑散としていたという。バブル期には年間で307万人だった入込数が265万人まで減少、宿泊単価も低下し、まさにV字の底という状態になっていた。
そこで草津町として、当時就任した黒岩信忠町長が旅館経営者出身ではなかった視点も活かし、東京にはないものの集合体を作る、つまり1000年超ある草津の歴史をなぞら

えながら説明せずとも見た瞬間に素敵だと感じられる町であれば、アクセスの不便さにかかわらず、人々を惹きつけることができるという結論に至ったという。観光地とは外を歩いて楽しめるもの。宿のただで完結するのであれば、わざわざ草津まで来る必要はないからだ。
歴史を活かし、若い女性たちにも刺さる温泉地。しかし古の情緒を醸し出すために、すでにあるものをすべて置き換えることはもちろんできない。
そこでクラシックなテイストの木造建築を随所に採り入れることで、温泉街を修景していく方法を探り、町づくりを進めていくことになった。



右／組合に加盟する店舗だけでも120軒が連なる温泉街。賑わいを見せる飲食店は泊食分離にも対応できる。空き家は1軒もないという

中心部から始める
シャンパンタワー方式を展開

初めに着手したのは、町の中心である湯畑周辺の再開発。2010年当時、湯畑のすぐ前には、廃業した旅館跡を利用した青空駐車場があった。観光名所そばに位置することから便利ではあったが、湯畑の背後にありながらそれはまったく絵にならない風景。駐車場は少し離れた場所に代替地を用意し、撤去した後は「湯路広場」が造られることになる。しかし駐車場撤去で客足が減るとい

より状況の厳しい外側からの活性化を望む声上がる。が、中心部から手がける重要性について「シャンパンタワー」の仕組みと同じであるという考えに至り、スタートを切った。まず頂点である湯畑に注ぐことで、時間はかかってもその恩恵は隅々まで行き渡るという理論だ。
これが見事に当たり、中心部以外の外周エリアの宿泊施設の集客も増加。6年ほどで草津の入込数はバブル期の人数まで到達する。それ以降は、コロナ禍等を除けば、見事なまでにV字回復を果たすことになる。

町歩きを楽しむに加え、
昼も夜も楽しめるコンテンツ

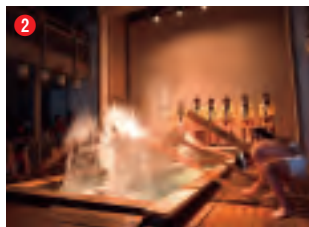
草津温泉 町づくりの歩みと入込人数の推移

観光施設整備など	入込人数 (年度別)	じゃらん全国 人気温泉地 ランキング 順位
2009年	273万5036人	3位
2010年	湯畑再開発着手	265万7582人 3位
2011年	大滝乃湯大規模改修	268万6746人 3位
2012年	ゆもみくんショー開始	276万5036人 3位
2013年	御座之湯再建	277万5290人 3位
2014年	湯路広場完成	287万9849人 2位
2015年	熱乃湯建替 西の河原露天風呂 リニューアル	300万412人 3位
2016年	湯畑のライトアップ開始	308万8900人 2位
2017年	渋谷駅前より東急バス 軽井沢経由便運行開始 夜景散策ツアー開始 (4月～10月の月1開催)	321万3160人 2位
2018年	西の河原公園ライトアップ 西の河原露天風呂の 混浴イベント開始	308万7162人 (本白根山噴火) 2位
2019年	BAN ZIP TENGUオープン	327万1646人 2位
2020年		194万3588人 2位
2021年	裏草津（地蔵広場）完成 手洗乃湯設置	2位
2022年	伝統湯「地蔵」貸切風呂、 百年石別邸完成	1位
2023年	立体交差、温泉門完成予定（秋） 中央通り整備着工予定	

草津温泉 コンテンツ一例



①温泉らくご
熱乃湯では2009年より、民間事業者主催による「温泉らくご」が毎晩20時から開催されている。大人1000円。ふらっと気軽に楽しめるのがいい



②ゆもみくんショー
湯もみGirlsによる湯もみショーに、2012年からは男性版「ゆもみくんショー」が仲間入り。草津町で産声を上げたJリーグ・ザスパ草津が発会式を熱乃湯で行った縁から、チャレンジャーズのメンバーが月に1回程度、男もみを披露。Girlsとはまた違う迫力満点の内容が好評（コロナ禍のため現在は休止中）



③西の河原露天風呂
混浴イベント
ライトアップの他、特定日を除く毎週金曜夜に混浴イベントを開催



④BAN ZIP TENGU
草津温泉スキー場のある標高1370mの天狗山山頂から滑空。小学生から体験可

着実に進んでいく。しかし圧倒的な存在感を放っているのは、夜の湯畑そのもののライトアップだ。湯気に光を当てるという発想が作り出す幻想的な光景を楽しむために、宿から出てくる人々で湯畑前は夜も大変な賑わいを見せている。
スキー客が落ち込み閑散期となっていた2月～3月が今ではトップシーズンに。女子会や卒業旅行などで訪れる人が増えたためだ。このように1泊2日ではとても回りきれないほどの充実したコンテンツが揃うが、これで終わらないのが草津温泉。それは思いもかけなかった場所に人を動かすという発想で、町づくりが続いていく。

新しい観光エリアを造成する 草津温泉の試み

**湯畑近くのエリアを再開発
2021年「裏草津」が誕生**

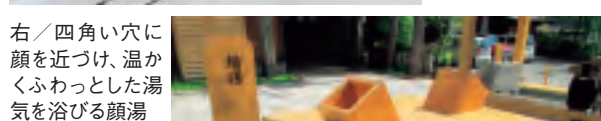
昼も夜も賑わう草津。しかし湯畑から直線でわずか100mほどのところに、昔は賑わったが、近年、観光客はほとんど立ち寄ることのないエリアがあった。共同湯「地蔵乃湯」のある地蔵エリアだ。4年以上前から構想し、再開発。昨年6月に新エリア「裏草津」が誕生した。

裏草津はその名の通り、中心部のすぐ近くにありながら隠れた家的な雰囲気。湯畑から路地の先に現れる木

造の階段を上がっていく。展望デッキから景色を眺め、ぐるりとそぞろ歩きを楽しめば、生まれ変わった地蔵乃湯や、地蔵源泉、開放感溢れるカフェや、草津ゆかりの作家の作品を収蔵した漫画堂、気ままに寛げる棚田広場等を巡ることができる。リニューアルした足湯や、温泉の湯気に顔を当ててスチーム効果を期待できそうな「顔湯」もあり、中心部とは趣の異なった、裏ならではの風情が味わえる。さらに2022年には、絵や文字を描いた石を強酸性の湯に浸けて溶かす加工体験ができる「百

年石別邸」や、地蔵乃湯内にワンランク上の料金で提供する貸切風呂もオープンする。
再開発されることが決まり、このエリアは急に活性化したという。前述の施設は行政主導だが、ところどころで木造の宿泊施設が顔を出す。あたたかも最初からこの景観の一部と

して計画されたかのような、全体的に統一感のある佇まい。新設のエリアながら、どこか懐かしい雰囲気を見事に演出している。
そしてこの裏草津エリアも夜にはライトアップ。湯上がりのひととき、に静かに小径の散歩を楽しむには、格好の場所だ。



上／地蔵乃湯もリニューアル 下／地蔵乃湯周辺。ライトアップされた木の風合いでしっとり感が増す。ここも湯畑と同じく面出さんが手がける



**交通渋滞を逆手に
町の入口に「温泉門」を設置**

裏草津を整備し、観光エリアが広がった草津だが、その進化はまだ終わる気配を見せない。これから1年半ほど後には「温泉門」が誕生することになる。

湯畑から徒歩10分ほどのバスターミナルや町役場よりも少し外側、国道292号（草津道路）と湯畑に通じる中央通りが交差する地点では、一時停止のために慢性的に渋滞が起きている。週末ともなれば大渋滞となるため、その解消策として立体交差化を採り入れる。そしてその渋滞回避策にさえも、観光地としての魅力を付加していくところが、さすが

草津と言えるだろう。

立体交差によりできるトンネルを門に見立て、温泉門と位置付ける。ここでも木を効果的に使用。門の脇で実際に温泉を流す3本の湯樋が並び、湯畑を彷彿とさせ、流れ落ちる下では足湯も楽しめる造り。帰り道の渋滞緩和策を取りながら、観光客を迎える玄関口としての役割も担う施設。約100台が停められる無料駐車場も備え、はるばる訪れる観光客に、まずは草津の湯で疲れを取ってもらおうという趣向だ。

さらにこの温泉門から延びる中央通りも整備を行っていく。この付近はかつて軽井沢との間に走っていた草軽電気鉄道の草津温泉駅があり、賑わいを見せていたところ。今では廃線となり人通りは減少したが、中心地である湯畑に繋がる道として活性化を図る。7mある道路の幅を4mに狭め、その分両脇にもみじの木を植えた遊歩道を整備。石畳を敷き、ところどころに黒塀を取り入れたデザインになる予定である。

温泉門の登場により、観光エリアが少し拡大することになるが、常に未完で、これからも進

草津 温泉街の周辺整備



上／温泉門完成予定図。豊富な湯量を活かした贅沢な足湯で最初のおもてなし。これまでは中心街から外れたと形容されることが多かったエリアが、近い将来、玄関口が変わっていく 右／俯瞰図



温泉門近くにあるバスターミナルと隣接する庁舎もライトアップを開始。都心からの直通の交通機関として多くの利用がある高速バス。東京発、新宿発のJR高速バスに加え、若年層を取り込むために2017年からは渋谷発の東急バスも運行を開始、利用状況は順調という



化を続けていくという草津温泉。これまでではハードの整備が多かったが、色々な取り組みも含めてここまでできた。そしてこれからも、行き当たりばったり、造っては壊し、の繰り返しにならない、100年先にも通

用する付加価値の高い町に仕上げていくことを引き続き目標としている。ここまで進化してもまだ途上。未完の傑作ながら人々を魅了する様は、さながら「温泉地版サグラダ・ファミリア」のようだ。

データを活用し、エリア一丸でブランド力を向上 すべては箱根のために

全国人気温泉地ランキング2位

箱根温泉（神奈川県）

箱根の立ち位置を知りたいで
危機感を共有

「全国人気温泉地ランキング」で15年間堂々の首位をキープし続けた箱根温泉。今回は初の2位となったが、

1位の草津とは僅差。依然高い支持を受けている温泉地であることに変わりはない。それではどのような戦略で、根強い人気を保つことができるのだろうか。

「このランキングではここ数年、草津温泉に肉薄されてきました。しかし2018年にGoogleトレ



箱根の絶景スポットの1つ、お馴染みの富士山と芦ノ湖

ドでの検索を調べたところ、温泉というキーワードでは2009年頃にはすでに草津に負けていたことを掴んでいました」（箱根DMO 佐藤守さん）。

2018年は箱根DMOが設立された年だ。

「DMOがスタートする時に、これから箱根が目指す方向について決めていく必要がありますが、箱根は十七湯と言われるように各地区の特色があり、客層やシーズナリティが異なっています。そのため合意形成を取ることが難しい。感覚値で議論をしているとどうしても空中戦になってしまい先に進まないのので、データを活用することにしたのです」（箱根DMO／ホテルおかだ 原洋平さん）。

しかし手元には有用なデータがなかったため、外部に委託して定期WEBアンケート調査を実施。観光庁や県が出しているデータもかき集め、これまでは入込客数しかわかっていなかったところから、観光収入がどのような人からどのように生まれてくるのか、今後それを増やしていく



温泉のデパートとも言われる箱根（写真は福住楼）

方策などを検討することができた。

「温泉というテーマでは負けていますが、箱根の強みは温泉、食、自然、美術館など様々な素材を楽しめる旅行ができるということ。そして色々な目的を楽しむ人ほど観光消費額が高い。そこで、箱根の観光素材を事前に周知すること、訪れてからは周遊しやすい環境を作ることというのを箱根の観光におけるKPIに設定し、全体で共有。促進する取り組みを展開しています」（原さん）。

観光客の旬な声を集める
独自のアンケート方法

マーケティングのベースとなるデータを収集するために、箱根では独自のシステムを導入。年に1度の定期WEBアンケート調査は継続しながらも、実際に訪れる観光客の旬の声をエリア内の53カ所（1月25日現在）で集め、リアルタイムで反映し集計。2018年から開始し、直近

れている。

「箱根は観光で成り立っている町ですが、行政の仕事は観光課を除き、ほとんどが対住民となり、観光地である、という意識を持ちにくいという点があります。例えば、箱根湯本駅近くのあじさい橋は観光客に人気の撮影スポットですが、この赤い橋の塗料が多少取れて錆びているところがあつたとしても、躯体に問題がなければ使用上支障がないと考える。しかし、観光地という面から見ると、そのまま放置することは箱根のブランド力や評価を落とすことに繋がっていくわけです」（箱根町観光課 多田直人さん）。

そこで意識改革のために、中堅職員約80名を集め、12月の2日間に分けて研修を行った。当日はスマートフォンを必携帯。研修次第にあるQR

コードから質問に答えると、その場で集計された回答がモニターに映し出され、箱根について参加者たちがどの程度把握できているかを共有できる場となった。

また、行政として箱根町の仕事をしたいでも、実際に居住している人は3割程度。仕事以外で庁舎の外に出ることも少ないため、箱根町の観光知識を得る機会があまりない。そこで、実践編では箱根の観光を自分たちで計画し、観光客の視点で新しい発見をもらうことに。コロナ禍のためグループを組んでの行動は避け、個人個人で計画を立て、実際に箱根の町へ旅に出る。店舗等で事業者らの声を聞き、目で見て感じたことをレポートにまとめる。観光客目線での意見は、ブランド力アップのために大いに役立つはずだ。



このPOPが設置されているところでアンケートを収集。協力すると温泉の素をプレゼント

そしてこのアンケートを基に「箱根DMO観光診断書」を作成し、運用。来訪者の居住都道府県別の利用額や、宿泊と日帰りの場合の観光目的の違い、期間で区切つての旅行者の動向など、まさに生の細かな情報を把握することができる。

「東京と神奈川から訪れる人が多いということはわかっていましたが、それが具体的な数値として認識できるようにになりました。そしてコロナ

町職員も、部門横断で研修。
まずは、観光地・箱根を知る

昨年より、観光地・箱根として官民連携による9つのプロジェクトがスタート。各エリアの観光協会、交通・宿泊施設の事業者、行政の様々な部署からもメンバーが集まり、まさに全山一丸となり推進していくことになった。それに合わせて行政の職員を対象に、座学と実践の2つから成る、部門を横断した研修も行わ

官民連携で展開する
9つのプロジェクト

- JSTS-D>Green Destinations
- アフターコロナ
インバウンド箱根連携
- 交通インフラ
- ユニバーサルツーリズム
- ガイド戦略構築
- 地域循環共生圏設計
- 旅マエ目的増加
- 観光DX
- 防災対策



箱根町職員を対象とした座学「箱根観光研修会」。多彩な角度から観光地・箱根について知識を深め、課題を共有できる内容となっている

箱根で進行中のプロジェクトから一部を紹介

交通インフラ

点在する多くの観光スポットをスムーズに周遊できるよう、箱根の交通情報を一元化し、DMOのHPや観光施設内のデジタルサイネージで混雑情報の発信を開始した。慢性的に渋滞が起きる箱根湯本〜宮ノ下の国道1号線のバス・自家用車での所要時間や、大涌谷駐車場の空き状況などを表示。これに伴い、伊豆箱根鉄道グループが自社の運行情報を、小田急箱根グループの交通情報デザインに統一。事業者同士の壁を越えた連携が行われている。

また、渋滞緩和策として昨年11月の土日・祝日に「大涌谷パーク&ライド」を実施。混雑する大涌谷の駐



通常は降水量や渋滞時の所要時間などが表示される電光掲示板に渋滞回避策を案内するという、画期的な取り組み

車場ではなく、早雲山などに無料で車を止め、ロープウェイを使って大涌谷まで行ってもらおうという試みだ。利用チケットの持参で割引やプレゼントなどの特典がある。そしてこの周知のために道路上に設置されている電光掲示板を活用。神奈川県小田原土木事務所、横浜国道事務所、神奈川県警察に掛け合い、合計14カ所の電光掲示板でパーク&ライドを告知。9日間で389台の利用があった。

ユニバーサルツーリズム

箱根には登山電車、ケーブルカー、ロープウェイ、船、バスの5つの乗り物を取り継いで、エリアを反時計回りに楽しめるゴールデンルートと呼ばれるルートがある。その他のルートも含めて、車椅子でも行けるように実証実験を行っている。途中の被害や、対応可能な事業者などを確認し、ユニバーサル化を実現していく。

ガイド戦略構築

豊かな自然に恵まれている箱根。見ているだけでも雄大な気持ちにな



上・下／観光プロガイドコース。「火災防災と大涌谷」、「救急法」などの講座もある

れる風景が広がるが、プロのガイドが導くことで、これまでとは異なるエリアの魅力を体感してもらえる機会になる。

2021年8月から2022年2月にかけて「箱根DMO公認ガイド育成プロジェクト」を開催。全20回、延べ150時間。第1部は箱根の自然・歴史・文化を学ぶ「魅力再発見コース」、第2部はプロのガイドを対象とした「観光プロガイドコース」、第3部はインバウンド向けに英語力が必須の「英語AT(アドベンチャートラベル)ガイドコース」の3部構成で実施した。第1部には75名が参加。そのうち第2部へは25名が、さらに第3部へは11名が進んだ。第2部と第3部までを受講すると箱根DMO公認ガイドとして認定。観光庁の地域通訳案内士や海外の認証制度にも対応できるレベルの高い内容となっている。

「コロナ禍が収束することを見据えてこれからの観光を考える時に、インバウンドなしには日本の観光は成り立たないだろうと思っています。そのインバウンドが回復した時に、箱根に戻ってきてもらえるように国際レベルでの受け入れ態勢を整えておく必要があります。特に海外の観光客は1カ所に長く滞在し、温泉も美術館も自然も楽しむ。そしてプロのガイドを雇うことに慣れている。ライバルは国内ではなく、スイスのツエルマットやカナダのバンフと想定しています」(箱根町箱根観光協会／やまぼうし代表 金子森さん)。

箱根の魅力を十分に伝えるためにも、ガイドによって認識違いなどがないよう、第1部は基本情報について足並みを揃えるところからスタート。参加者75名のうち、半分以上を旅館、ホテル従業員などの地域の人

まだある！注目の温泉地

アーティストや若手事業者が温泉街を活性化

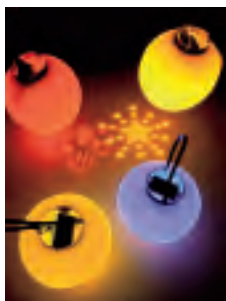
全国人気温泉地ランキング16位
蔵王温泉(山形県)

スノーリゾートとしても知られ、今回のアンケートでもスキー、スノーボ、樹氷についてのコメントが多く見られた蔵王温泉。グリーンシーズンも強化するための様々な取り組みが始まっている。

1ターンのアーティストとコラボして観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業に参加。壁画制作やパフォーマンス上演など、これまでとは異なるアートな一面を加えた蔵王温泉の楽しみ方を提供。また昨夏には提灯を無料で貸し出し、映し出される灯りの模様を眺めながら散歩したり、蔵王温泉大露天風呂



カフェ&バルChotto。開業資金集めにはクラウドファンディングを利用



上／提灯からアートな模様が映し出されることで、自然と距離を取れる

左／蔵王温泉大露天風呂は6月〜9月の間、曜日等を限定し営業時間を延長

若い世代をターゲットに観光施設を整備

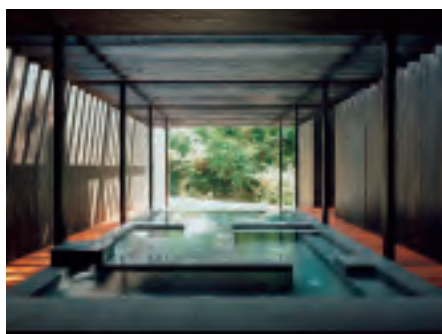
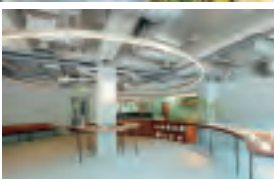
全国人気温泉地ランキング35位
湯河原温泉(神奈川県)

箱根と熱海に隣接する湯河原は、都心からアクセスしやすい距離にありながら隠れ家的な雰囲気がある温泉地。万葉集にも詠まれ、その歴史は1200年と言われているが「観光光町・湯河原」の実現に向けさらなる魅力向上と来訪促進のため、特に20代、30代にアプローチする観光施策に取り組んでいる。

2018年に温泉街の湯元通りに石畳を敷設。町立湯河原美術館に地元豆腐店がプロデュースするテラス付きカフェと、町に縁のある画家の制作風景を見学できる「見えるアトリエ」をオープン。さらに町のラ



上・右／玄関テラス。カフェでドリンクや軽食を購入できる



惣湯テラス。食事なしの滞在も可能